

～『新たな価値を創造する複合機能都市の形成』～

多様な価値観やニーズに応える、
「産業」「健康」「環境」を柱としたまち

① 大阪経済の発展に寄与するものづくり企業などの産業拠点の形成

名神・新名神高速道路などの国土軸に直結した交通利便性の高さを最大限に活かし、大阪府下での産業用地の受け皿として、関西をけん引する企業の府外への流出防止や、府外からの企業誘致の促進を通じて、大阪経済の成長・発展につなげるとともに、北大阪地域での新たな雇用創出による地域活力の向上を目指す。

② 茨木市北部地域において、多様な世代の健康と安心な生活をささえるまちづくり

市北部地域の高齢化の進展状況などを勘案して、福祉・介護などの生活支援型サービス機能の導入を図るとともに、健康医療等に関する産業施設の誘致など、多様な世代の安心な生活をささえるまちづくりを目指す。

③ 都市の低炭素化や豊かな自然を活かした環境配慮型のまちづくり

市北部地域の豊かな緑や安威川ダムの水辺空間などの自然資源を活かすとともに、良好な景観にも配慮し、民間投資の促進を通じた低炭素社会の構築を図り、みどりとふれあい、憩いというおのの都市空間の形成を目指す。

産業集積区域Ⅰ

北大阪地域のライフサイエンスのポテンシャルを活かした健康医療関連産業や、第4次産業革命に関する新たな技術を利用したものづくり産業や流通施設など、大阪の強みを活かし、府内での再投資及び府外からの企業誘致、茨木市北部地域の高齢化に配慮した福祉・介護などの生活支援型サービス施設や、健康医療等の生活支援に資する産業・研究開発施設の誘致を図る区域



ひょうご東条インターパーク(兵庫県)

産業集積区域Ⅱ

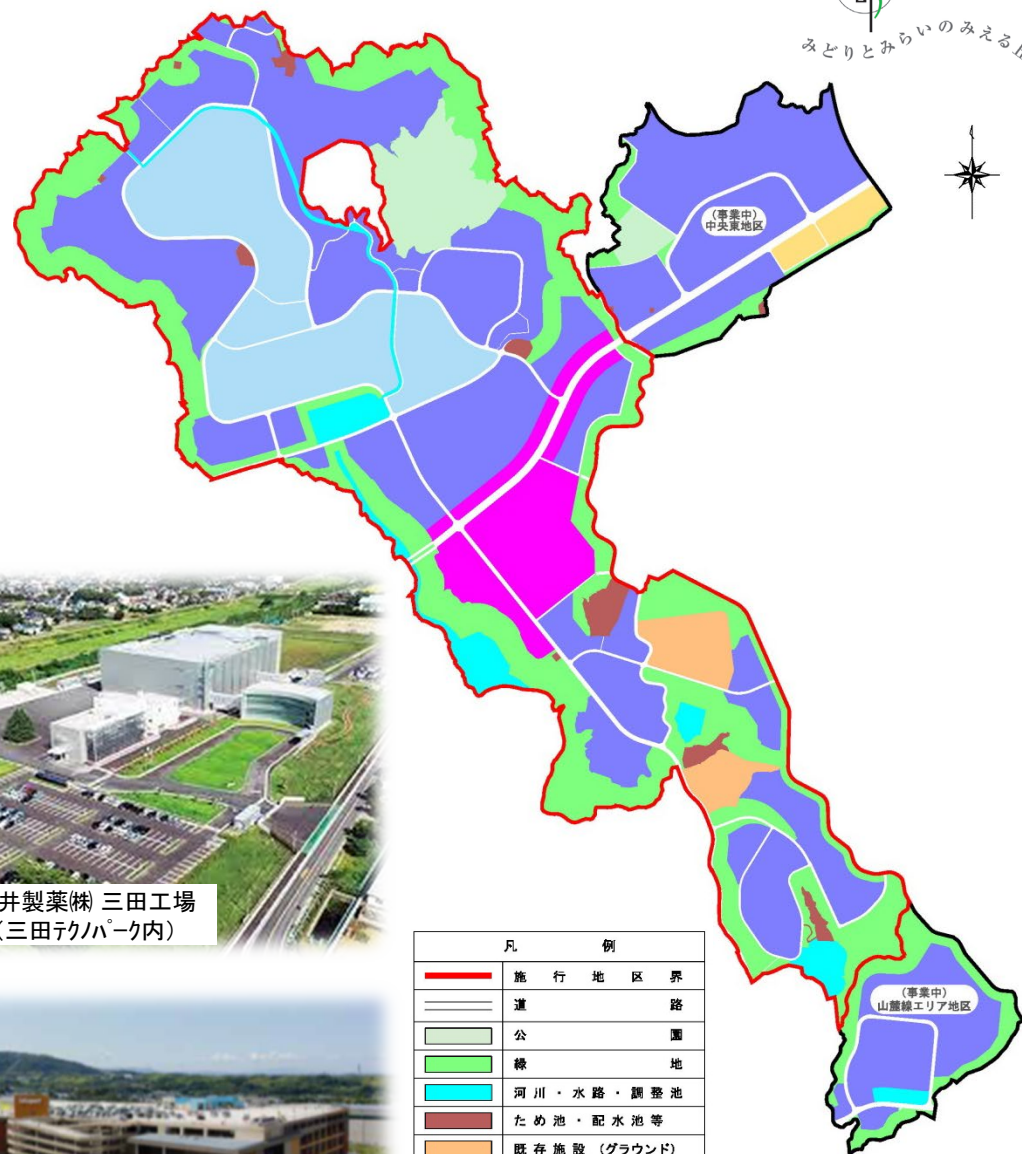
新たな雇用創出などによる地域活力の向上を図るとともに、産業拠点の形成による大阪経済の発展を目指し、交通利便性や操業環境など企業ニーズに応えられる彩都東部地区の立地特性を活かし、製造・生産工場など大規模で幅広い用途の施設誘致を図る区域



ららぽーと和泉及びコストコ(大阪府)



沢井製薬(株) 三田工場
(三田テクノパーク内)



凡 例	
	施行地区界
	道 路
	公 園
	緑 地
	河川・水路・調整池
	ため池・配水池等
	既存施設(グラウンド)
	業務施設区域
	広域・沿道型商業・業務区域
	産業集積区域Ⅰ
	産業集積区域Ⅱ

※今回とりまとめる土地利用方針(案)及び土地利用計画(案)は、現時点での目指すべき街の姿であり、今後、彩都東部地区全体の段階的な整備が見込まれるため、社会経済情勢や周辺環境の変化に対応した見直しを行います。

<彩都東部地区に期待される役割>

- 国土軸上の立地を活かした関西をけん引する産業拠点の形成
- 成長戦略に位置付けられた第4次産業革命に関する先端技術を活用した産業拠点の形成
- LSPの施設立地の流れを受けたライフサイエンス関連分野の施設立地
- 中部地区における企業立地の流れを受けたイノベーション企業集積
- 新名神効果を活用し、国土軸上にある北大阪の玄関口として地域特性を生かした広域的な商業施設の立地
- 安威川ダムの周辺整備と連携し、自然環境と調和した産業集積
- 茨木市北部地域の発展と利便性の向上に資するまちづくり

広域・沿道型商業・業務区域

彩都の周辺住民だけではなく、安威川ダムのレクリエーション施設への来訪者なども含め、広域から集客できる複合的で時間消費型(コト体験型)な商業施設等の誘致を図り、北大阪地域の新たな地域拠点として賑わいを創出する区域